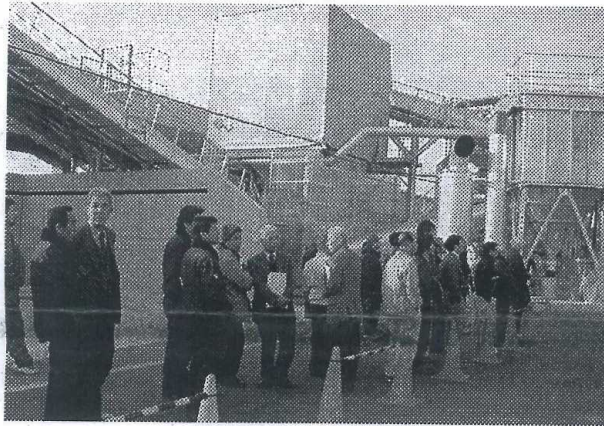


# 尾張知多



ガラス再商品化施設の見学会

## ガラス再商品化施設で見学会

施設は、現在は埋め立て処分される一部の色付きガラス瓶やガラスくずを特殊な破碎機で碎き、「リサイクルガラス造粒砂」に再商品化する。ガラス造粒砂は山砂などの代替品として道路部材や地盤改良材などに利用し、ガラス廃棄物の埋め立て処理量削減と、自然砂の過剰採取抑制を同時に実現できる。処理能力は八時間稼働で日量四百ト。四月からの本格稼働を目指し、初年度は一万トの処理を見込んでいる。

民間のガラス再商品化施設としては東海地区では最大級であり、本格稼働を前に、地元住民や行政、企業関係者らに施設を公開した。参加者は、機械に投入されたガラス瓶が砂粒状に加工される工程を見学し、

実際にリサイクルガラス造粒砂を手に取りながら、

## 処理能力や用途など説明

総合廃棄物処理業のトーエイ(本社東浦町藤江ヤンチャ二八ノ一、今津昭社長)は二十六日、新規事業として立ち上げたガラス再商品化施設(東浦町藤江南栄町)の見学会を催し、周辺住民や行政、企業関係者ら三十五人が参加した。処理能力や安全性、ガラス再商品の用途などを説明した。

### トーエイ

「どっやってフタなどの異物を取り除くのか」「他の地域に同様の施設はあるのか」など、担当者に次々と質問していた。

見学会は二十八日まで開き、百人程度の参加を見込んでいる。問い合わせは同社企画開発室(電話0562・833・3880)へ。

(大府)